

ある日の育児日記から

佐藤 和代

(15)

もうすぐ我が家も四人家族。となると、2Kの住まいでは狭すぎるので、引っ越しをしました。

安定期とはいえ妊婦ですから、当日はほとんど友人に頼りきり。なかでもありがたかったのは、小学一年生の、いとこのお姉ちゃんです。圭とお

姉ちゃんは、第一便で(車で五分ほどの場所なので、ワゴン車で何往復かして運びました)新しい家へ。まだ何も運ばれていない広い部屋で、二人であきもせず遊んでいてくれました。

このとき圭が何度も言っていたのが、「ドシンドシンしていいのね?」という言葉でした。

以前の住まいはマンシ

ョンの三階で、しかもマ

ンション中で子どもは圭

だけ。圭がとびはねると

下の階から苦情がきてし

まうので、「ドシンドシンはだめ」と言わざるを

えませんでした。でも今度は大丈夫。一階です

し、隣も子どもがいる家庭です。親子ともども、

のびのびした気分になりました。

お姉ちゃんが帰ってからも、確認するかのよう

に、意味もなくとびはねていた圭。今でもときど

き「ドシンドシンいい?」

ときぎます。許可を求めな

くてもはねまわれるようにな

ったときが、圭にとって

の引っ越し完了、なのかも

